

バンド調整法方法

セラミック・ブレスレット・C管タイプ^o

C管タイプの長さを調整するとき下記ご参照願います。

C管(ピンを固定するリング管)タイプ、ブレスレット、セラミックタイプ等の長さ調整を行う時は下記コマ受け台に注意して作業を行って下さい。

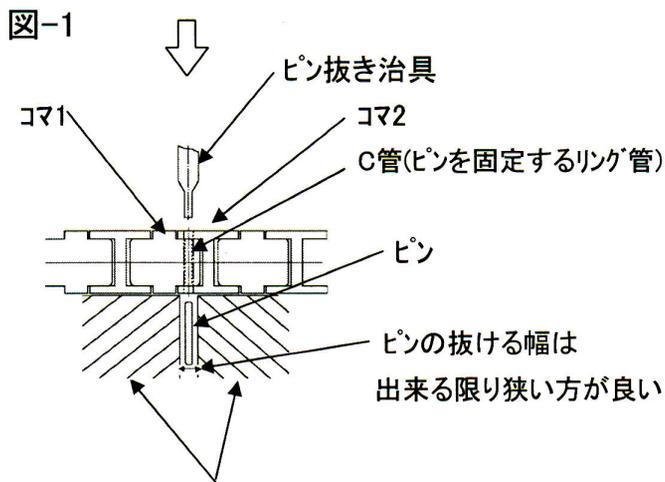
- ① 図-1の様にピン抜き治具でピンを抜いてください。(どちら側からでも抜きやすい方向から抜けます。
《注》ピンの抜きと下コマ台の位置に注意して下さい。

- ② 腕廻りに合せてコマ数を取りピンを圧入する。

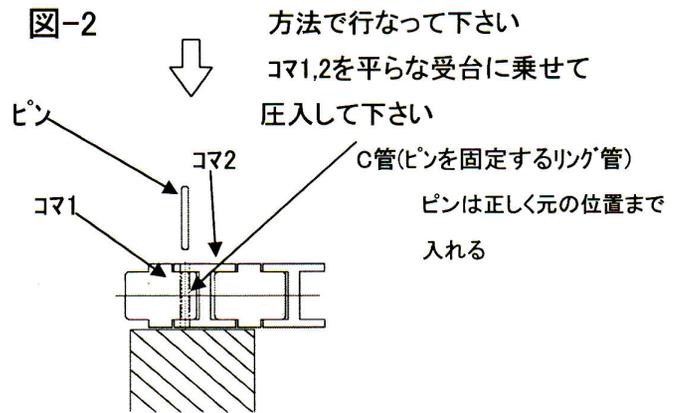
……図-2参照

圧入の場合は図-2の方法で行なって下さい

コマ1,2を平らな受台に乗せて圧入して下さい

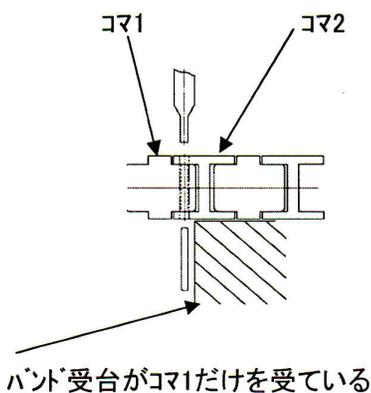


バンド受台(コマ1・コマ2両コマを受けている)

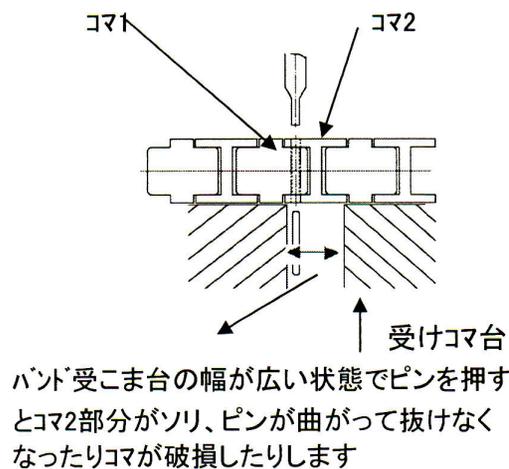


バンド受け台

ご注意ください:不安定な場所でバンドの調整を行うと、破損や変形につながります。



バンド受台がコマ1だけを受けている



バンド受コマ台の幅が広い状態でピンを押すとコマ2部分がソリ、ピンが曲がって抜けなくなったりコマが破損したりします

参考

図-3や図-4の状態で行いますとコマ1やコマ2に余分な衝撃が加わり破損や変形を来し調整不備を起こす場合がありますのでご注意願います。